

2009年7月23日

各位

東京都千代田区有楽町一丁目7番1号
株式会社ナムザック・ジャパン
代表取締役 福元 無外

ナムザック・ジャパン、世界初のIP携帯電話を商用サービス開始

株式会社ナムザック・ジャパン（以下「当社」という、本社：東京都千代田区、代表取締役：福元 無外）は、携帯電話端末にソフトフォンのアプリケーションをインストールすることによりインターネットでの音声通話が可能なIP携帯電話システムを世界で初めて商用化し、本年7月からサービスを開始しましたのでお知らせいたします。

当社はこの度、日本通信株式会社と契約を締結し、NTTドコモの3G回線をMVNOとして借り受け、IP携帯電話サービスを展開することにいたしました。提供する端末は当初、回線と同様に日本通信株式会社よりi-mate8502端末の供給を受けてのサービスとなり、国内初のシムロックフリー端末になります。来年春にはAndroid端末によるサービスを予定しています。

近年のブロードバンド網の普及に伴い、IP電話サービスの普及が進んでいます。しかしながら、IP電話の利用は固定網にとどまり、携帯電話を中心とする移動体通信には、未だ導入がなされておられません。導入が進んでいない理由については、例えIP電話とは言え、現在の音声コーデック技術では双方向通話では約100Kbpsの帯域を占有することになり、回線交換音声方式の帯域の30Kbpsと比較しても3倍強の帯域となり、キャリアとしてはネットワーク負荷軽減と言う立場からもIP電話化には消極的にならざるを得ない状況であります。

しかしながら、当社が提供するIP携帯電話「Arrowfone」の通話帯域は、片側7.5Kbps、双方向15Kbpsと、回線交換音声方式と比較しても半分程度の占有帯域幅を実現し、経済的な点も克服しました。また、近年、キャリアから通信ネットワークを借りてキャリア同様に携帯電話サービスを提供するMVNOが台頭し、特に、データ通信に特化したさまざまなサービスを提供しております。これらのMVNOにおいては、借り受けたネットワークの帯域に何人のユーザーにサービスできるかが最大の関心事となっており、使用帯域の小さな通信サービスが要求されており、その意味においても、当社の提供する「Arrowfone」IP携帯電話サービスは正にこれらのニーズに合致したサービスと言えます。

最近の3G携帯電話の活用は、データ通信を主体とし、音声通話はオプション的な位置づけが、特にソフトバンクモバイルによるiPhoneの導入を契機にその動きが顕著になっております。当社

では、データ通信が主体で、音声通話をオプションとする事を明確に位置づけるには、データ通信回線の上で音声通話を実現する IP 携帯電話サービスの導入が必要であると判断しました。

この背景には大きな顧客のニーズがあります。携帯電話の音声通話が IP 電話になることにより、例えば携帯電話を企業の内線と位置づけ、企業内の固定電話との間で内線として相互に転送したり、また、複数人で会議の出来るカンファレンス・コールサービスや、メールと音声メッセージを統合したユニファイド・サービス、また、通話料金の低減、特に国際通話料金の激減等コスト面において大きなメリットとなってきます。

販売目標として、2009 年末までに販売台数 2 万台、売上 9 億円、2010 年末：販売台数 30 万台、売上 100 億円、2011 年末：販売台数 60 万台、売上 300 億円を予定しています。

以上

株式会社ナムザック・ジャパン 会社概要

社名： 株式会社ナムザック・ジャパン
代表者： 福元 無外 (代表取締役)
資本金： 351,930,000 円 (2009 年 3 月 31 日現在)
設立： 2001 年 2 月 28 日
事業内容： ・インターネット・コラボレーションシステム「WebArrow」サービスの開発・販売提供
・IP 携帯電話「Arrowfone」システムの開発・販売

本件に対する問い合わせ：

株式会社ナムザック・ジャパン

戦略企画室 山賀 章裕

電話：050-3801-8160